

新規反応場としての微細気泡の工学的体系と活用法、微細気泡を利用した二酸化炭素の固定化、工場排水処理、土壌改良、医療器具・野菜・ペット洗浄などへの応用例の紹介を中心とした講演会・見学会・技術交流会を新たに企画しました。マイクロ・ナノバブル技術にご興味・ご関心のある研究者及び現場技術者は奮ってご参加下さい。

第3回「微細気泡の応用技術」講演会

<http://www2.scei.org/cre/schedule.htm>

- ・主 催：化学工学会反応工学部会「反応場の工学 分科会」
- ・協 賛：日本海水学会、技術士協同組合、NP0日本技術経営責任者協議会
- ・日 時：2009年 3月13日（金）13:30～17:00（受付13:00～）
- ・場 所：「サンピアンかわさき」（川崎市立労働会館）第三会議室
〒210-0011 川崎市川崎区富士見2-5-2 電話：044-222-4416
<交通> <http://www.sunpian.jp/>、JR 川崎駅・京浜急行川崎駅から約 15 分

・プログラム：

1) 講演会： [共通テーマ；土壌・地下水汚染と液状化への対策]

13:30-13:40 開会挨拶と連絡事項

千葉工業大学工学部生命環境科学科 教授 尾上 薫

13:40-14:40 「土壌・地下水浄化へのマイクロバブル活用の期待と課題」

(株) 竹中工務店 技術研究所環境浄化グループ 奥田 信康

14:50-15:50 「オゾンとマイクロバブルを用いた土壌地下水汚染対策工法」

DOWAエコシステム株式会社 日野 成雄

15:50-16:50 「マイクロバブル混入工法による液状化対策」

武蔵工業大学都市工学科地盤環境工学研究室教授 末政 直晃

2) 技術交流会 (17:00-18:30)

- ・参加費：主催・協賛団体の個人正会員：2,000円、学生会員：1,000円、その他：4,000円、技術交流会参加者は上記金額にプラス3,000円（学生はプラス1,000円）
（当日会場にて徴収致します。）
- ・申込み方法および申込み先：参加ご希望の方は、(1)参加者氏名、(2)所属と職位、(3)所属する主催・協賛団体名もしくは非会員の場合はその旨、(4)交流会参加希望の有無を明記の上、電子メールにて下記の松本宛にお申し込み下さい。
（会場の関係上、先着60名様で受付を締め切ります。）

〒275-0016 習志野市津田沼2-17-1 千葉工業大学工学部生命環境科学科 尾上 薫

（連絡窓口） 千葉工業大学資源環境総合開発センター 松本 真和

Tel: 047-478-0415, E-mail: masakazu.matsumoto@it-chiba.ac.jp